

平群

Heguri



≡ 議会だより

3月定例会 No.230 平成23年5月1日

発行：奈良県平群町議会

第1回定例会

予算審査特別委員会報告 2～4

議事結果 5～6

質疑あれこれ 6～7

請願・厚生委員会報告 8～9

町政を問う！ 一般質問 9～15



3月6日に行われた平群町ふれあいマラソン大会スタートの光景

予算審査特別委員会

主な質疑・討論

平成23年度の一般会計及び特別会計の当初予算が提案されました。

一般会計

歳入

収納対策について

質問

町税は、前年度比で1億6,800万円、21年度に対して2億円近い、非常に大きな落ち込みということになっているが、収納対策の取り組みは。

答弁

滞納者に対する処分については、差押え件数が、21年度45件、23年3月1日現在105件となっている。参加差押えについては21年度が1件、22年度7件となっている。

学童保育料の見直し

質問

保護者の所得自体が下がっている中、学童保育料の見直しを行う考えがあるか。

るか。

答弁

学童保育の保護者負担金は、23年度予算は前年度より50万4,000円を減額している。月平均児童数が21年度実績の129名、23年度見込みは132名と若干伸びている。

歳出

コミバス推進事業

質問

23年3月末に総合連携計画を策定されるが、今後のスケジュールは。

答弁

平群町地域公共交通総合連携計画に基づき、10月から予定をしている実証走行に向けて、バス停の整備並びに陸運局への申請を進めて行く。

介護保険利用軽減

質問

町独自の軽減サービスを元に戻す考えがあるのか。

答弁

23年度の介護保険策定委員会制度全般の計画策定を予定しており、会議の中で検討し方向性を明らかにしていきたい。

就学前児童訪問事業

質問

緊急雇用対策として計上されている就学前児童訪問事業の内容は。

答弁

新聞等でも毎日のように児童虐待等の記事が掲載されており、乳幼児健診時に把握をしているが、電話や訪問を行い就学前児童の把握や安全確認等行っていきたい。

働く世代の大腸がん検診推進事業

質問

働く世代の大腸がん検診推進事業の内容は。

答弁

40歳から60歳までの5歳刻みの方に対し大腸がん検診が無料となるクーポン券を送付し、検診の重要性及び検診方法を理解していただき受診率向上に努めていきたい。

竜田川流域生活排水推進会議

質問

竜田川流域生活排水推進会議の内容は。

答弁

生活排水対策として地域住民の方々に水質保全に係る意識高揚を図る啓発として、昨年度からBDFの精製に取り組んでいる。今後は2,000リットル以上の廃食油の回収を目指しBDF化して行く。また、廃食油の回収拠点を広めて行くよう取り組んで行く。

地域産業の活性化について

質問

平群町活性化センター検討業務と、地域産業活性化検討業務の内容は。

答弁

道の駅のレストランと売店は、地域の農産物が活かされていなく、消費ニーズの把握、現状分析、および課題の整理を

平成23年度予算

総額121億3,661万円を可決

一般会計 69億1,000万円

特別会計 52億2,661万円

行い、今後どのような展開をすればいいのか、また、全国各地には道の駅が建設され、近隣で民間の直売所が立地をされており、地域間競争に負けないような体制の検討を行っていきたい。

ホタルの里公園整備事業

質問

ホタルの里公園整備事業の概要は。

答弁

紀氏神社に隣接する公園で、上庄の地元の方々、ボランティアの団体等の協力も得て竹林や雑木林の伐採に取り掛かった。

23年度においては、詳細設計や敷地造成並びに公園広場の排水施設等の基盤整備を実施して行く。また、小学校ともタイアップし、自然観察が出来るようなことも考えている。

小中学校の耐震化率

質問

本町の全ての小中学校の耐震化率は。

答弁

現在の耐震化率については85・185%で、平成26年度まで予定通り進むと

耐震化率は100%になる。

討論

子育て支援や、住民負担増の軽減といった施策がほとんど見受けられない。その上、2億2,000万円もの歳入不足の予算を組むという状況になっている。また、町づくりの根幹に係わる小学校の統廃合の問題について、スケジュールはそのままにし、用地購入費や設計費の予算を新年度予算には計上せず、補正で対応しようという姿勢が明らかになっており、これは議会や住民をあざむく行為だと言わざるを得ないことにより反対する。

臨時雇用対策事業の約2億2,000万円で、65人の雇用が創出され、教育事業の内容、駅周辺の整備事業についても、最大限の住民の利益になるような事業を計上したこの予算が、もし否決されてしまえば、大きく住民の生活を左右する事態になる。是非こつこつ基本的な事業を円滑に進め、改革の継続をこれから先、長期に継続していくためにもこの予算は当然必要不可欠なものであると考え賛成

する。

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決することに決まりました。

国民健康保険特別会計

質問

療養給付費で、16億円計上されているが、決算の見込みの状況から高く見込んでいる理由は。

答弁

療養給付費の予算を組む時は、決算見込みを基にして計上しており、例年約7%から9%の範囲内で伸びを見ている。22年度の決算見込みが低くなっているが、例年組んでいる伸び率である。

討論

20年度の大増税、3年連続の黒字、そして新年度予算の療養給付費の計上額を適正に見れば国保税を引き下げることは可能である。療養給付費を必要以上に高く積算していることと、住民が請願を出され、「国保税の負担により住民生活が

大変だ」という状況を汲み取った形での、国保税引き下げになっていない予算については、反対するという意見が出されました。

住民の生命を守るためには、国民健康保険制度の安定がなによりも不可欠であり、給付と負担の公平を図るためにも、保険者としての保険料収納対策など、自助努力が必要である。また、平成20年度から、特定健診の事業が開始され、受診率を増加するために、町単独で心電図検査を予算計上されており、被保険者を守るためにも、受診率向上に向けたさらなる取り組みをお願いし、この予算には賛成する。

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決することに決まりました。

水道事業会計

討論

水の単価が下がる中、少なくともこの分だけで

も引き下げて、住民に還元するのが行政の姿勢であり、引き下げになっていない予算については、反対する。

県水の購入量が増えている事に対して、浚渫（しゅんせつ）等で工事を進め、自己水量を増やすという方針はすでに示されており、予算に具体的な方向が取られていることから、この予算には賛成する。

採決の結果、賛成多数により原案どおり可決することに決まりました。

平群町農業集落排水事業特別会計

今後の維持管理について

質問

将来、農業集落排水施設を公共下水道に接続する考えはないか。

答弁

全国的にも農業集落排水施設を廃止して、公共下水道に編入する流れがあり、施設の耐用年数等を考えながら、将来的には選択肢として、公共下水道に接続することもあり得る。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

平群町学校給食費特別会計

地元産農産物の使用状況

質問

学校給食に地元産の農産物が何種類提供されているのか、また全体の農産物から見て地元産農産物の占める比率は。

答弁

21年度実績では、地元野菜を24品目使用、23年3月末現在で22品目の使用を予定している。全体の野菜から見て地元野菜の使用率は、22年度目標として、12%程度見込んでいる。

また、地元野菜は、天候により大量納入が極めて難しい部分もあり、供給品目を増やすより、一つの種類の供給量を増やしていくことが今後の課題である。

審議の結果、全員異議なく原案どおり可決することに決しました。

（委員長 下中 一郎）

平成23年度一般会計・特別会計予算総括

（単位：千円）

区 分		平成23年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	比 較	
				増減額	増減率(%)
一般会計		6,910,000	6,235,000	675,000	10.8
特別会計					
住宅新築資金等貸付事業特別会計		59,892	65,327	△ 5,435	△ 8.3
国民健康保険特別会計		2,467,000	2,437,000	30,000	1.2
老人保健特別会計		0	5,080	△ 5,080	△ 100.0
下水道事業特別会計		985,800	657,000	328,800	50.1
農業集落排水事業特別会計		37,200	37,200	0	0.0
学校給食費特別会計		75,874	78,288	△ 2,414	△ 3.1
介護保険特別会計	保険事業勘定	1,212,000	1,149,000	63,000	5.5
	介護サービス事業勘定	8,857	9,289	△ 432	△ 4.7
奨学資金貸付事業特別会計		1,025	442	583	131.9
後期高齢者医療特別会計		235,984	225,500	10,484	4.7
用地先行取得事業特別会計		142,978	149,850	△ 6,872	△ 4.6
特別会計 計		5,226,610	4,813,976	412,634	8.6
企業会計（水道事業会計）					
水道事業収益		510,417	505,947	4,470	0.9
水道事業費用		497,408	489,427	7,981	1.6
資本的収入		11,841	27,186	△ 15,345	△ 56.4
資本的支出		46,575	68,344	△ 21,769	△ 31.9

第1回定例会（3月7日～17日）こんなことが決まりました

平成23年第1回定例会が3月7日から17日までの11日間の会期で開かれました。

初日、町長提出の新年度一般・特別会計予算案11件、専決処分承認案1件、条例の廃止案1件、条例の一部改正案13件、22年度補正予算案6件、副町長の選任同意案1件と請願2件が上程されました。

審議の結果、請願2件は厚生委員会に付託、新年度予算案11件を除く議案は採決を行い即日原案可決されました。

2日目の本会議で新年度予算案の総括審議を行ったあと、予算審査特別委員会を設置し付託しました。

9日、厚生委員会が開かれ、請願2件の審査の後、委員長裁決により、継続審査となり、議長に閉会中の継続審査の申し出を行いました。

一般質問は14日に、12人の議員が町長に質問を行いました。

最終日の17日には、会期中に開かれた予算審査特別委員会の審議の内容とその結果を委員長が報告し、報告のとおり原案可決しました。

また、議員提案の条例の一部改正案2件を原案可決、意見書2件は可決し関係行政庁へ送付することに決しました。

委員会の閉会中の継続審査の件（請願1号・2号）は賛成多数で可決しました。

議決結果賛否一覧 ○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

議案名	議決結果	戎井政弘	土井重尋	岡嘉道	森田勝	植田いづみ	山口昌亮	奥田幸男	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	池田研二	繁田智子	下中一郎	馬本隆夫
専決処分の承認を求めることについて（平成22年度平群町一般会計補正予算（第6号））	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町共同浴場設置及び管理条例の廃止	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町特別会計設置条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町心身障害者医療費助成条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町介護保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平群町農業委員会の選挙による委員の定数を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町一般会計補正予算（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度平群町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
副町長の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成23年度平群町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
平成23年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は採決に加わりません

次ページへ続く

平成23年度平群町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○
平成23年度平群町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町学校給食費特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度平群町用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平群町議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良社会保険病院の公的機関としての存続のため、公的存続法の早期成立を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医師、看護師、介護職員の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会の閉会中の継続審査の件（請願第1号 国民健康保険税の引き下げを求める請願書）	可 決	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○
委員会の閉会中の継続審査の件（請願第2号 平群南小学校の存続を求める請願書）	可 決	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●

議長は採決に加わりません

平成22年度一般会計補正予算（第7号）

その主なものは

きめ細かな交付金総額 2,682万円

住民生活に光をそそぐ交付金総額 2,382万円

質疑あれこれ

3月議会に上程された議案の中から主な質疑、討論、答弁について報告します。

質問

ふれあい推進事業費で住民生活に光をそそぐ交付金事業（人権政策強化事業）として講師謝礼、事務用机や車の購入があるが、なぜこれが人権政策強化事業なのか詳しく説明して欲しい。

答弁

基本的には財政難で積極的な予算編成が出来ず、必要なものも削らざるを得なかった。

今回は住民生活に光をそそぐ交付金に当てはまるものを優先して行う方針で臨んだ。

中身について人権啓発に係る講演会を実施することへの講師謝礼30万円程度。財政難で、人権啓発の物品等々については整備出来ていなかったため、整備をする。事務用品として117万円程度である。

備品購入費については、主に車両購入で、老朽化が激しい車両を廃車してこの事業費を当て、また広報、啓発用としてスピーカーを付けた省エネタイプの車を220万円で購入した。事務用机、椅子等については、老朽化している会議室用に充当した。

質問

住民生活に光をそそぐ交付金は全部で2,382万円あり、そのうちの1,852万円は「あすのす平群」に使い、23年度、24年度で図書を買う基金として積み立てるというが、一般財源で町として福祉施策なり、行政サービスをやらなければならぬところはたくさんある。何故これを選んだのか、そこに行政姿勢が問われるのでは。

答弁

県とも相談する中で、光をそそぐ交付金の交付対象が、これまで光があったってこなかった事業、具体的には図書館の充実化とか、あるいは人権の対策費等々を対象にメニューを考え、このような内容で認可されたものである。

質問

きめ細かな交付金で、ごみステーションの整備補助金が250万円出ているが、どれくらいの規模のものでどれくらいの金額か、また団地などでは置く場所が非常に難しく、自治会とよく相談する必要があるのでは。

答弁

ごみステーションの設置については、補助の対象として「かご」タイプのものを設置するために、今回の補助は補助率2分の1、上限5万円の設置箇所50個を見ている。また、「かご」タイプのもので設置できない条件のところについては、散乱防止ネットを配布する。

ごみステーションについては、基本的には自治会の皆さんで維持管理をしていただくというをお願いしている。

質問

住民生活に光をそそぐ交付金で、町の公式ホームページのリニューアルが27万8千円計上されているが、住民にとって分かりやすくするために、業者任せでなく、より良い内容のホームページを研究していただきたい。

また、きめ細かな交付金でデジタル教科書が導入されているが、このデジタル教科書の詳しい内容と、導入による効果について説明して欲しい。

答弁

住民生活に光をそそぐ交付金の交付要綱に沿ってリニューアルするので、弱者対策として高齢者に優しい

拡大文字を使い、横幅が広く使えるようにして情報量を多くする。

目の不自由な方はそれぞれ持つておられるパソコンで、文字情報を音声に変換するソフトを使われている場合もある。

緊急を要するデータについては、庁舎内で更新が可能なシステムにしておく。

また、デジタル教科書というのは電子黒板50インチの大型テレビに映して授業をするためのソフトです。

今回1年生から4年生までの国語のデジタル教科書で、27万円程度ですが、非常に高い学習効果が表われていることが全国的にも言われている。

質問

きめ細かな交付金を充当して、総合スポーツセンターのウォーターパーク維持補修工事請負費は具体的にどのような工事が。

学校給食センター施設整備事業で、遮断弁の取り替えと野菜裁断機の修繕が挙げられているが、現在学校給食センターの備品、設備関係の状況はどうなっているのか、計画的な修繕が必要ではないか。

答弁

ウォーターパークの関係で2点の工事を予定している。

ひとつは子供用プールの底面を全面的にやり変えをする工事で今回交付金を使ってやりたい。面積は375平方メートル程度、金額にして393万7千円での計上をしている。

もうひとつはウォーターパークの防滑シート、滑り止めのため、プールサイド全体に敷いているレザースीートのつなぎ目の補修を90万円程度の範囲で主に目立つ部分を補修する。

給食センター機材についての状況は、LPガスの遮断器、何かあった時にガスが自動的に遮断する弁を取り換えるというのが1点。

もうひとつは、施設備品購入費の中の野菜の裁断機の取り替えということで計上している。

全体としては給食センターの機材はかなり古くなっていて、毎年機材備品の管理資料は作っているが、実際には具体的に修繕を要する状態にならないと予算化はしにくい状況である。

議員提出議案

特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

提出者 窪 和子
賛成者 池 田 研 二
(原案可決)

平群町議会委員会条例の一部を改正する条例について

提出者 池 田 研 二
賛成者 窪 和子
(原案可決)

奈良社会保険病院の公的機関としての存続のため、公的存続法の早期成立を求める意見書(案)

提出者 植 田 いずみ
賛成者 山 口 昌 亮
(原案可決)

医師、看護師、介護職員の大増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書(案)

提出者 山 口 昌 亮
賛成者 植 田 いずみ
(原案可決)

委員会調査報告

公共交通対策特別委員会 1月14日、3月3日
協議案件

「平群町地域公共交通連携計画」作成検討の報告について

下水道特別委員会 2月16日
協議案件 下水道法による事業計画変更について

議会運営委員会 2月22日
協議案件

- 1 第1回定例会の議会運営について
- 2 委員会条例等に関する事項について

厚生委員会 3月3日
協議案件

- 1 県営水道受水量の変更について
 - 2 介護保険会計実地検査(結果報告)について
- 3月9日 付託の請願審査(9頁をご覧ください)



植田 いずみ
議員



繁田 智子
議員

3月18日奈良県町村議会議長
会定期総会において、自治功勞
者表彰を受賞されました。
全国町村議会議長会
町村議会議員普通表彰

表彰状受賞



氏名 山中 淳史
住所 奈良市

副町長の選任に同意
山中淳史氏を、副町長に選任
することを全会一致で同意しま
した。

同意

請 願

請 願 文 書 表

国民健康保険税の引き下げを求める請願書

受理番号 第1号

受理年月日 平成23年3月2日

請願の要旨

平群町の国民健康保険税は、平成20年度に加入者1人平均2万円（前年比22%増）という大幅な引き上げが行われました。この大幅な増税に、多くの住民から「病気やケガのことがあるので、無理しても納付していますが、ほんとうに大変なんです」「収入の1割近くにもなっている国保税、なんとかしてほしい」の悲鳴があがっています。

また、町は20年度予算で、国保税を総額で1億2,600万円引き上げても、国保会計は単年度で7,700万円の赤字になるとしていましたが、実際の決算では、20年度単年度で1億1,800万円もの黒字となり、累積でも前年度までの赤字7,700万円を解消して4,050万円の黒字になりました。

このような経緯もあって、一昨年の平成21年12月町議会に、3,326筆の署名を添えて「国保税の引き下げを求める請願」を提出しました。しかし、12月議会では継続審議になり、翌年3月議会では、町の21年度決算見込みが「単年度2,700万円赤字」なのを主な理由に反対多数で請願は不採択になりました。

しかし、21年度の実際の決算は単年度1,400万円の黒字で、21年度末の累積黒字は5,450万円になりました。

そして、町の22年度の決算見込みは単年度で2,940万円の黒字、累積で8,400万円の黒字というものです。

平群町の国保加入者は、今年1月末現在5,825人です。

1人平均1万円の引き下げは十分にできます。高すぎる国保税を少しでも引き下げて住民のくらしを守ることは議会の責務だと考えます。

請願項目

国民健康保険税を加入者1人平均1万円以上引き下げること。

請願者の住所及び氏名

生駒郡平群町緑ヶ丘6丁目8番21号

西尾 悦次

紹介議員 山口 昌亮、植田いずみ

付託委員会 厚生委員会

請 願 文 書 表

平群南小学校の存続を求める請願書

受理番号 第2号

受理年月日 平成23年3月7日

請願の要旨

平群町立小学校再編成アクションプランを撤回し、平群南小学校を存続させること。

この数年間で竜田川駅周辺にはたくさんの住宅が新築されてきており、平成26年度までは、少しずつですが南小学校の児童数も増えていくといった情勢にあります。ところが、昭和58年に建築された比較的新しいこの南小学校を廃校にして、東小学校に再編成するという小学校再編成計画（以下「本件アクションプラン」という。）が策定されました。これまでの住民説明会で、「住民合意のない2校案がいつどのようにして決まったのか」「通学距離が延びることで、子供たちが交通事故や犯罪に巻き込まれるリスクも高まるが、具体的な安全対策はどうなっているのか」といった本件アクションプランを疑問視する意見がたくさん出されたにもかかわらず、町当局からは納得のいく説明がなされないまま本件アクションプランが強行されようとしています。

議会におかれましては、今一度、この間多くの住民から出された意見や800筆以上の署名を集約した「南小学校の存続を求める要望署名」のもつ重みを真摯に受けとめていただき、住民合意があるとはどういえない本件アクションプランを早期に白紙撤回し、平群南小学校を存続させることを強く求めます。

請願者の住所及び氏名

請願者代表

生駒郡平群町竜田川3丁目11番24号

畠 紀代江 他5名

紹介議員 山口 昌亮

付託委員会 厚生委員会

厚生委員会委員長報告

去る3月7日平群町議会第1回定例会本会議において、当委員会に付託を受けたました請願2件の審査結果を報告致します。

請願第1号

国民健康保険税の引き下げを求める請願書

請願第2号

平群南小学校の存続を求める請願書

請願第1号の要旨は、8頁をご参照ください。

質疑では、保険税で基金を貯めるということ自体が問題であり、取り過ぎた分は返すという事は当然の要求である。

即刻採決して欲しいという意見がある一方、

国保会計を健全に運営して行く為には、ある程度の基金積み立ては必要である、黒字だから下げ

て赤字になったら上げたらいけないというものでもない。

現在の国保会計の状況では加入者1人平均1万円以上の引き下げは、次年度、5、6月頃医療費の償還が発生し、金額が確定するまでは軽々に賛成できないので継続審査とすべきとの意見がありました。

継続審査を求める意見と採決を求める意見が出され、継続審査とすることの賛否は、可否同数となり、委員長裁決で継続審査とすることに決しました。

請願第2号の要旨は、8頁をご参照ください。

質疑では、地域住民の合意があるとは思えない本件アクションプランを白紙撤回し、小学校再編

成計画の全面見直しを求める意見がある一方、

教育委員会が住民合意を得るために住民との意見交換会を鋭意重ねている状況下で、アクションプランを白紙撤回し、平群南小学校の存続を求める請願を採択することは、小学校再編成を行なうという町当局の意向を否定することになり、今は時期尚早、継続審査とすべきとの意見がありました。

継続審査を求める意見と、採決を求める意見が出され継続審査とすることの賛否は、可否同数となり、委員長裁決で継続審査とすることに決しました。

以上が当委員会に付託を受けました請願審査の審議の内容及び結果であります。

(委員長 岡 嘉道)

町政を問う！ 一般質問一覧

高幣 議員	1. 今後の町づくりで大事なことは何か 2. 町内公共交通に関する路線バスの強化について 3. 教育を考えると夢が必要です。町は学校再編を含め、保護者にどの様に理解を求めているか	土井 議員	1. 財政の長期展望について
		奥田 議員	1. 国民健康保険について
		山田 議員	1. 路線バス、コミバスの運行状況、路線状況について 2. 平群町土砂条例について
窪 議員	1. 乳幼児医療費の無料化を小学校卒業までに拡充を 2. 小中学校の特別教室の冷房化を 3. コミバス運行のさらなる利便性拡大について	戎井 議員	1. 2期目のスタートにあたり、岩崎町長の抱負、決意を伺いたい
		池田 議員	1. バス回転場跡地売却に係る裁判の経緯について 2. 人事評価制度の本格的運用に向けて
森田 議員	1. 「BUY へぐり」運動の導入について 2. 町出資公益法人等について	繁田 議員	1. 平群町役場の組織再編 2. 岩崎町長2期目の行政執行について
山口 議員	1. 学童保育の入所基準について 2. 公園の遊具入れ替えについて 3. コミバスについて	植田 議員	1. 資源ごみ回収体制の拡充について 2. 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の助成制度について 3. 第5期介護保険計画での保険料引き下げについて
岡 議員	1. ごみ減量化への取組方針について		

今後の町づくりで 大事なことは何か



高幣 幸生

質問

今後の町づくりで大事なことは何か。町の活性化の大きな原動力（人口）を考えると、若い世帯の流入を図る時代ですが、10年後の町をどの様に考えているか。

答弁

10年後の町をどう考えるかについては、総合計画や都市計画マスタープランに基づき、平群駅周辺整備の進捗に伴い、町玄関口となる駅前広場や道路整備等の面整備、併せて進める企業誘致等の町づくりの実施から町の景観も大きく変化する。

人口は町の原動力、町を支える根幹です。



少子高齢化が進み、自然増も見込めない中、若者の流入や定住化対策が必要です。

今後、平成25年度を初年とする第5次総合計画の中、町の将来を見据え、諸施策を着実に実施し、高齢者や若者が住み易く、安心して住み続けることが出来、移住してもらえる定住化促進策や、子育て環境の充実等の施策を実施することです。今後も人口増の相乗効果のある施策を考える必要がある。

乳幼児医療費無料化を 小学校卒業まで拡充を



窪 和子

質問

少子高齢化が進み、子育て支援の一層の充実が求められています。

その一環として乳幼児医療費の助成制度が実施されてきました。しかし自治体によってばらつきがあり、まだまだ十分とはいえない状況にある為、さらなる拡充が必要です。

①県下自治体の実施状況

答弁

①現在、高校卒業までは山添村。中学校卒業までは斑鳩町を含む1町6村です。

町・野迫川村も拡充します。

②入院のみでは年間370万円、入院と外来では3,350万円、その他拡充のため500万円のシステム改修費などの経費が必要です。

③財政的な推移を見ながら検討していきたい。

小学校卒業までの助成をしているのは、入院のみが大和郡山市・香芝市・川西町・田原本町の2市2町で、23年度は三郷町も拡充。また三宅





森田 勝

「BUY へぐり」運動の導入について

質問

平群町の基幹産業である農業の環境は、政府のEPA（経済連携協定）の締結、TPP（環太平洋経済協定）に参加すれば、大打撃を受けることが予測される。

そこで、基幹産業の農業を支援するため、特産品である果物、花卉、野菜等を買う、食べるキャンペーン「BUY へぐり」運動を導入して、町内で愛町運動を展開してはどうか。

答弁

農業振興については、芋



焼酎、梅酒等の特産品の開発に取り組んできた。
①メリット、デメリットを含め平群町の特性にどの様にマッチするのか、来年度検討する。
②来年度は緊急雇用創出

交付金を使って、直売場や加工処理施設の研究をし、更に新しい特産品の開発、研究から販売まで行なう第6次産業の構築を戦略的に取り組む。



山口 昌亮

公園の遊具入れ替えについて

質問

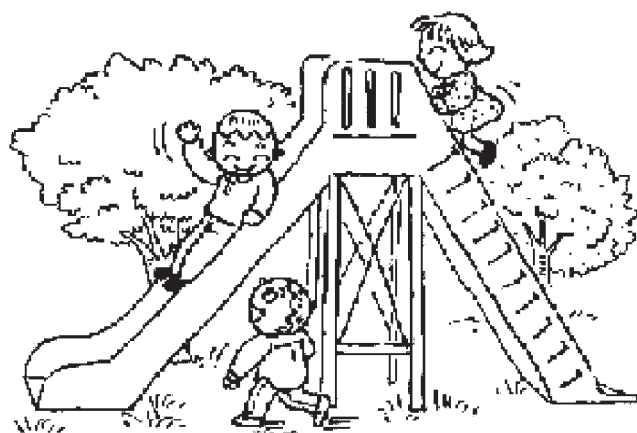
町内住宅地の公園の遊具について、12月議会では、滑り台とブランコは撤去したあと新設するが、鉄棒は撤去だけとなっているままです。

この計画を知った自治会から「鉄棒も必要」との声もあがっています。

子どもたちが利用する公園遊具は安全でなければならぬことから、入れ替えは早急に実施すべきですが、どのような遊具を設置するかは、それぞれの地域のみなさんの意見を聴取すべきだと考えますが、いかがでしょうか。

答弁

公園遊具の入れ替えは



「地域子育て創生事業」で実施するもので、遊具の撤去あるいは、撤去を行った同種の遊具を新設するのが事業の採択基準となっています。

12月議会です予算計上した遊具の入れ替えも地域住民の意見を聞いていますが、鉄棒の新設についても、地域住民の意見を聞いて、事業の効果が得られるよう努力します。

ごみ減量化への 取組方針について



岡 嘉道

質問

先の廃棄物減量等推進審議会において23年度のごみ減量化推進への取組方針」が了承されたと聞いて居りますが、その内容を具体的にお聞かせ下さい。

答弁

22年度、全町に亘り実施した住民説明会の意見を参考にして、23年度の主なごみ減量化推進事業として以下の4点を推進します。

①現在行なっている、生ごみ処理容器等の購入補助、有価物集団回収への助成金交付の継続実施。

②ごみステーションの整備に対する補助金及び、カラ対策ネットの無償配布を



4月より実施します。
ごみ集積所1箇所につき上限5万円として、設置費用の半額を補助します。
③資源ごみのステーション回収の実施。
④高齢者など支援を要する世帯へのごみの個別収集を4月より実施します。

ふれあい収集として、おおむね65歳以上の1人暮らし世帯を対象に個別に収集し、併せて安否確認をする。

財政の長期展望について



土井 重尋

質問

①新年度予算は前年度比10・3%の増であり、また、平成21年度決算では、経常収支比率92・3%と依然として、財政収支が非常に厳しい状態であることを示しているが。

②歳入においては前年度対比、約25%増の町債を計上しているが、償還金が最大になる時は何年で、財政規模はどの位か。
③組織改革の進捗状況については、組織のより効率的な体制確立が求めら

れているが。

答弁

①行財政改革を基本とし、今後の地方分権化の中で、持続可能な地方自治を目指したものである。

6,200万円程度と予測している。
③全体としての業務量を見直し、敏速で効率的な組織作りを目指したい。一定の素案は出来ているので、平成24年度からは実行に移したい。

歳出の徹底

した見直しと並行して、自主財源を確保する施策を講じていかなければならない。

②地方債の償還については、平成26年度の11億1000万円がピークと予想している。

その時の財政規模は46億



国民健康保険税について

質問

国民健康保険制度が発足して今年で50年になると聞いています。このような互助制度は世界で日本だけだそうです。

特定健康診査の受診率

の低い町ほど国民健康保険税が高くなっています。全国的に一人当たり医療費を県と比較すれば、高い県は福岡県で105万円、低い県は長野県で71万円、奈良県は93万円となっています。その中でも平群町は県

平均より、もっと高い7

番目だそうです。福岡県は長野県の五割増し高い医療費となっています。

医療費は直接本人だけでなく国民健康保険税にも跳ね返ります。

どうしたら受診率が向上し、国民健康保険税が安く

なるのか、今後の対策を説明してください。

答弁

国民健康保険税の負担の軽減には受診率を上げなければなりません。

受診率は平成20年度の31.5%から連続で下



がり続け、現在では21%となっています。

受診率を上げる為に、来年度から心電図を取り入れるなど検査項目を増やし、魅力有る特定健康診査にして受診率の向上に努力致します。

路線バスの運行状況 路線状況について

質問

高齢化が進む平群町の住民にとって路線バス・コミバスは今後の生活スタイルの大きな要因であることは、誰しも異論のないところです。

しかし、便利になつて今まで気づかなかった事が、

自然の驚異等により突然将来に不安を抱える事もあり、2月14日の午後から雪が積もり、平群町を含む奈良県のあちこちで交通渋滞等、車の運行に支障が出た出来事もそのひとつで、若葉台のかたより、急な坂道のため雪で歩行も怖く、駅までのマイカーでの送迎も出来ず大変困り、将来にも不安を持った事などお聞きしました。

そこで、今まであきらめていたが、路線バスの



コースを3丁目や4丁目の中まで入つてこれないのかと要望されていますが、住民要望として、実現するにはどのような手続きが必要なのでしょう。

答弁

バス事業者より、ルート変更は当該自治会の総意による合意が形成されていれば変更も可能と回答を頂いている。

山田 仁樹



奥田 幸男

岩崎町長の

2期目への抱負を問う



戎井 政弘

質問

岩崎町長には先の選挙で再選され、2期目に入られたが、そのスタートにあたっての抱負、この4年間で何を実現したいのかについて伺いたい。

答弁

1期目は町民の皆様のご理解とご協力を頂き、現実的な手法で財政健全化に努め、今年度末には累積赤字も相当解消出来る見込みです。

心から感謝します。

今後はこれまでで取り組んできた、行財政改革の継続と、より一層の改革推進に加え、新たな町の再構築ともいえる政策や活性化策に取り組みます。(以下、項目だけ記しておきます。)



は再点検中。再構築は24年度実施。駅周辺整備事業の駅前広場は24年度中の完成を目指し、その後バス導入へ。バイパス沿い線引きは5月告示され、今後大型店舗立地が期待される。

椿井橋の架け替えは課題が解決し、大きく前進。ゴミ減量化も課題を解決して実施へと。学校再編成は合意形成に努力傾注。幼保一体化、観光政策、コミバスの拡充等々に全力投球。

人事評価制度の

本格的運用に向けて



池田 研二

質問

平成21年3月議会での私の一般質問に、「出来るだけ早い段階で試行を実施する。試行を2年間行い、十分習熟してから本格実施に入る」との答弁がされています。

今回の試行は管理職を対象に行われているが、課題も多くあり、次の質問を行います。

①今回の試行の概要と課題について。
②一般職を含めた試行は行うのか。

③本格的実施の時期は。

答弁

①試行実施は22年4月からで、6月末に組織目標シート、個人目標シートを作成し中間面談を行った。

10月以降、副町長が不在となり、不完全となった。

面談に重点を置いたが、目標設定の難しさもある。アンケート調査も行い、課題を精査したい。

②22年度試行は不完全であったため、職員組合と協議し、23年度も改めて管理

職の完全試行を行う。その上で一般職を含めて実施をする。

③試行の成果を検証し、24年度から一般職を含めて本格実施したい。





繁田 智子

岩崎町長2期目の

行政執行について

質問

1月23日に挙行された町長選挙で、岩崎町長は当選されましたが、票差は僅差でした。

町長はこの選挙結果をどのように受け止め、今後2期目、4年間の行政執行をどのようにしていきたいと考えておられるのでしょうか。町長の新財政健全化計画で、住民の皆さんはかなり負担感を感じておられます。固定

答弁

資産税率などを見直す考えはないのでしょうか。

住民の皆さまの厳しいご批判と、真摯に受け止めるべきだと思います。急激な改革による痛み・住民負担に関して、私の説明責任が足りなかったのか。

これから、丁寧な説明、正確な情報提供を心がけるとともに、住民の皆さんの声にも耳を傾けながら、財政健全化の早期実現と、町の活性化に



努め、安心して暮らせる明るいまちづくりに取り組めます。

健全化が実現したあかつきには、固定資産税率の見直しも検討していかなければならないと考えている。

高齢者の肺炎球菌ワクチン 助成制度について



植田 いずみ

質問

日本人の死因の4位に肺炎があり、その95%が65歳以上の高齢者です。

平群町ではこの肺炎による死因が3位になっていきます。

このような中、全国的に助成制度をおこなう自治体が増えてきています。

死亡率が非常に高い肺炎球菌による肺炎をワクチン接種することで、約80%の予防効果が期待できます。

またこの接種により、ワクチン費用の約16倍の医療費が軽減できた自治体もあります。

平群町でも75歳以上の方や後期高齢者医療制度（75歳未満）を対象とする、あるいは古希（70歳）のお祝いなどとして、助成制度を創設するべきで



答弁

はないでしょうか。

ワクチンによる予防は実感しているが、任意接種への助成について町として判断は困難であり、国や予防接種部会などの見解を注視して今後の検討課題としたい。

町 の 話 題

市町村対抗子ども駅伝大会



第6回市町村対抗子ども駅伝大会が、3月5日に馬見丘陵公園で開催されました。

町内の3小学校から総勢11名（5年・6年生）が毎週水曜日、平群中央公園に集まって練習をガンバッテきたとのこと。

目標だった2年連続で総合入賞（8位）、町の部でも3年連続3位以内（2位）を達成！！

絆をタスキにつなげての素晴らしい結果でした。



以上の基準によつて全国町村議会議長会から平群町議会が選ばれました。

1. 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会
2. 住民に開かれた議会
3. 先駆的な取り組み議会

東日本大震災 義援金の報告とお礼

この度の大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私たち議員は、3月20日と21日の両日、町内4か所のスーパーの店頭で、義援金の募金活動を行い皆様の温かいご協力により110,222円の義援金

が集まりました。この義援金は、平群町社会福祉協議会を通じ日本赤十字社へ送金しました。

議会としても、日本赤十字社を通じて被災地に義援金を送金し、また昨年、議員視察研修で来町された宮城県山元町と巨理町も、未曾有の被害に見舞われましたので、直接義援金を送りました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



全国の優良町村議会 表彰受賞

昭和52年以来33年ぶりに全国町村議会議長会より平群町議会が22年度の全国の優良町村議会表彰を受けました。

この表彰の審査では、

1. 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会
2. 住民に開かれた議会
3. 先駆的な取り組み議会

編集後記

打ち寄せる波を抱きかかえるように続く美しい海岸線を一瞬にして打ち砕き、町全体を破壊し尽した大津波、想像を絶する大災害に言葉がありません。

「黙 禱」

私たち議会だより編集委員は「読みやすく」「分かりやすい」を目標に編集し、カラー版を町民の皆さんへお届けして1年が経ちました。ご愛読ありがとうございます。みなさまからの色々なご意見、ご感想をお待ちしています。

議会だより編集委員会

委員長 池田 研二
副委員長 窪 和子
委員 土井 重尋
岡 嘉道
植田いづみ
高幣 幸生
下中 一郎
(池田 記)